

全国児童発達支援施設運営協議会



岩手大会 開催要項



大会テーマ

～こどもを権利の主体とするために私たちができること～



岩手山(2,038m) 別名: がんじゅさん 巖鷲山・南部片富士

オンデマンド
配信期間

令和4年12月1日(木)～12月14日(水)

主催

公益財団法人日本知的障害者福祉協会児童発達支援部会
東北地区知的障害者福祉協会児童発達支援部会
岩手県知的障害者福祉協会

®わんこきょうだい

全国児童発達支援施設運営協議会 岩手大会

大会テーマ～こどもを権利の主体とするために私たちができること～

1 趣 旨

新型コロナウイルスの感染が拡大と鎮静を繰り返す中、全国の施設においては、障がいのある人たちやその家族の生活を守るため、強い責任感を持ち感染予防に努めながら、日々の利用者支援に奮闘し続けています。このような状況を踏まえ、利用者、その家族、施設職員が、安心して利用、支援を継続できるよう感染リスクを避けるため、本大会は、今年度はオンデマンド配信で開催することとしました。

さて、昨年から、障害者総合支援法・児童福祉法改正法施行後3年の見直しの議論が進められ、障がい児支援については、他の事項にさきがけて昨年12月に方向性が示されました。具体的には、児童発達支援センターは「福祉型」と「医療型」との一元化、児童発達支援と放課後等デイサービスは「総合支援型」を基本型とし、入所支援については、移行調整の主体を都道府県とし、相談支援事業所が、入所中から移行・定着まで一貫して支援する方向で検討されることになりました。

さらに、昨年は、「障害児入所施設運営指針」が示されるとともに「障害児通所支援の在り方に関する検討会報告書」も公表され、障がい児分野の大きな転換点となったほか、こども家庭庁創設の具体化、こども基本法制定の議論がされるなど、こども全般の政策推進の機運が高まっています。

このように、障がい児支援を取り巻く状況が大きく変化している中、こどもを権利の主体とし、本人の最善の利益を保障するという理念は、一層、重要になります。本大会は、障がい児支援を取り巻く情勢を理解した上で、多様な視点でこども中心の支援の在り方について考えることを目的に開催します。

2 オンデマンド配信期間

令和4年12月1日（木）～12月14日（水）



3 参加費

日本知的障害者福祉協会会員事業所	5,000円
一般事業所	7,000円



4 申込方法

別紙「大会参加申込方法」に従い、~~11月18日（金）~~までにWEB又はメールでお申込みください。
11月27日（日）

®わんこきょうだい

項目	内容・講師
挨拶	日本知的障害者福祉協会会長／東北地区知的障害者福祉協会会長 井上 博
	日本知的障害者福祉協会副会長・児童発達支援部会部会長 北川 聡子
趣旨説明	東北地区知的障害者福祉協会 児童発達支援部会部会長 佐藤 元彦
行政説明 (60分)	「これからの障害児福祉施策について」 講師 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 障害児・発達障害者支援室 室長 栗原 正明 氏
講演 (90分)	「こどもを一人の人間として尊重した支援とは」 こどもを取り巻く環境や施策が変化中、児童福祉施設におけるこどもの権利擁護の推進が求められています。こどもの最善の利益を保障するこれからの支援のあり方について学ぶ機会とします。 講師 大分大学 学長特命補佐 相澤 仁 氏 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1956年埼玉県生まれ。 立教大学大学院文学研究科教育学専攻博士課程後期課程満期退学。 国立武蔵野学院長を経て、2016年4月より、大分大学福祉健康科学部教授。 現在、大分大学学長特命補佐（福祉・地域共生社会推進担当） 日本子ども家庭福祉学会会長、厚生労働省社会保障審議会児童部会部会長代理、全国子どもアドボカシー協議会理事長、全国家庭養護推進ネットワーク共同代表、全国子ども家庭養育支援研究会会長。</p> </div>
パネルディスカッション (75分)	「こどもを権利の主体とするために私たちができること」 子どもを尊重した支援や子ども中心の支援の在り方について、入所及び通所の事業所の実践報告から、意見交換を通じて学びを深めます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>実践報告</p> <p>(1) 福島県 総合児童発達支援センターアルバ (15分) 児童部門アドバイザー 三島木 尚也 氏</p> <p>(2) 青森県 幼児発達支援センター大空 (15分) 施設長 齊藤 祐樹 氏</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>コーディネーター</p> <p>日本知的障害者福祉協会副会長・児童発達支援部会部会長 北川 聡子</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>助言者</p> <p>大分大学 学長特命補佐 相澤 仁 氏 日本知的障害者福祉協会児童発達支援部会副部会長 寶子丸 周吾</p> </div>

次期 開催県挨拶	東海地区代表
岩手県紹介	ようこそ! いわてへ! 岩手県知的障害者福祉協会会長 鎌田 信也

6 申込み・問合せ先

【申込手続き、オンデマンド配信に関する問合せ】

名鉄観光サービス株式会社盛岡支店

〒020-0022 盛岡市大通 3 丁目 3-10 七十七日生盛岡ビル 9 階 (担当: 佐々木)

TEL: 019-654-1058

Email: jido-iwate2022@mwt.co.jp ※専用メールアドレス

受付時間 (営業時間): 平日 / 9:30~17:00 (土・日・祝日 休み)

【大会の企画運営に関する問合せ】

岩手県知的障害者福祉協会

〔事務局〕社会福祉法人岩手県社会福祉協議会 (担当: 田澤)

〒020-0831 盛岡市三本柳 8 地割 1 番 3

TEL: 019-637-4407 FAX: 019-637-4255

E-mail: akiko (@) iwate-shakyo.or.jp

※ メール送信の際は、@の () を削除して送信願います。



わんこきょうだいは、(公財) 岩手県観光協会の登録商標です。